

外国語会話教室の概況

～資格ブーム、自己投資志向を背景に堅調～

企業数	1200企業
就業者数	3万5041人
年間売上高	1826億円
1企業当たり	1億5214万円
就業者1人当たり	521万円
講師数	2万4868人
事業所(教室)数	5181事業所(教室)
受講生数	101万1216人

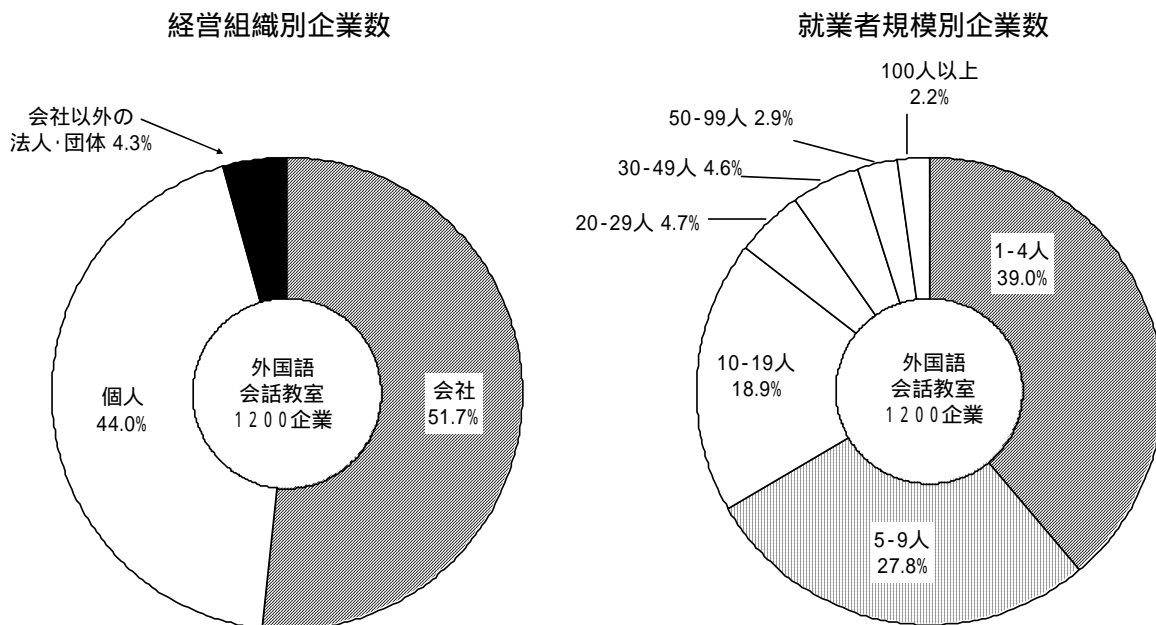
1. 企業数

平成14年における外国語会話教室を営む企業数は、1200企業であった。

これを経営組織別にみると、「会社」は620企業で構成比51.7%、「個人」は528企業で同44.0%と、会社経営と個人経営は企業数でほぼ半々程度となっている。

次に企業数を就業者規模別にみると、「10人未満」の小規模な企業が801企業と全体の7割弱、「10～19人」規模が227企業で同18.9%となっている。就業者数20人以上は172企業で全体の14.3%、このうち、「100人以上」規模は26企業で、全体の2.2%となっている。

以上のように外国語会話教室は半数近くを個人経営が占め、就業者数10人未満の小規模な企業が7割を占めている。



2. 就業者数

就業者数は、3万5041人であった。これを雇用形態別にみると、「正社員、正職員」が1万1147人、「パート・アルバイト等」が1万7745人と常用雇用者(正社員、正職員+パート・アルバイト等)が全体の8割強となっている。「臨時雇用者」は4170人で構成比11.9%、「出向・派遣者(受入)」は442人で同1.3%とわずかである。

男女別にみると、男性が1万3761人で構成比39.3%、女性が2万1280人で同60.7%となっている。

雇用形態別就業者数

	就業者数	構成比 (%)	男女別			
			男性	構成比 (%)	女性	構成比 (%)
合 計	35,041	100.0	13,761	39.3	21,280	60.7
個人事業主、無給家族従業員又は有給役員	1,537	4.4	842	54.8	695	45.2
正社員、正職員	11,147	31.8	4,010	36.0	7,137	64.0
パート・アルバイト等	17,745	50.6	6,915	39.0	10,830	61.0
臨時雇用者	4,170	11.9	1,827	43.8	2,343	56.2
出向・派遣者(受入)	442	1.3	167	37.8	275	62.2

部門別にみると、「専任講師」(月給制で雇用)が1万2990人、「非常勤講師」(時間給制で雇用)が1万1878人で、合計2万4868人と、講師が就業者全体の約7割を占める。外国人の講師数をみると、「専任講師」が1万529人で外国人比率が81.1%、「非常勤講師」が5265人で同44.3%となっており、講師数全体の約6割を占めている。

部門別就業者数

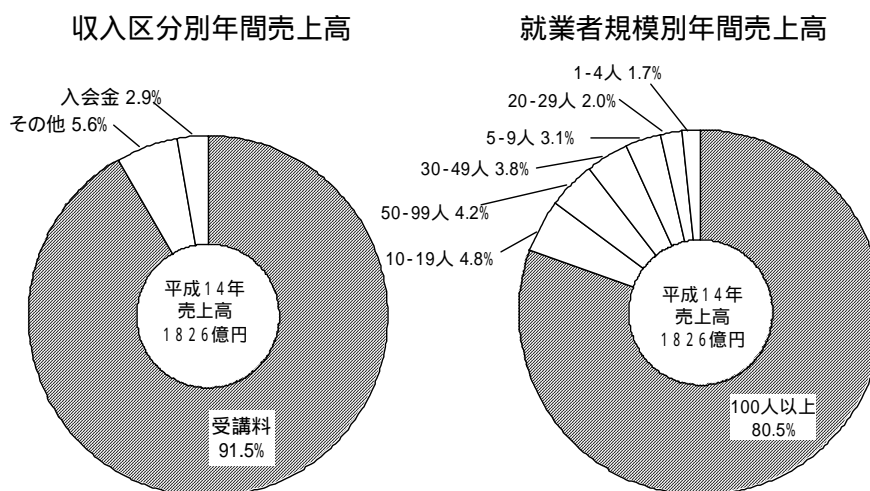
	就業者数(人)	構成比(%)
合 計	35,041	100.0
管理・営業部門	8,697	24.8
講師	24,868	71.0
専任講師	12,990	37.1
うち、外国人	10,529	30.0
非常勤講師	11,878	33.9
うち、外国人	5,265	15.0
その他	1,034	3.0
出向・派遣者(受入)	442	1.3

(注) 出向・派遣者(受入)は、部門別の調査をしていない。

3. 年間売上高

年間売上高は、1826億円であった。これを収入区分別にみると、「入会金収入」が52億円、「受講料収入」が1671億円、教材費用などの「その他の収入」が102億円となっており、受講料収入が全体の約9割を占めている。

就業者規模別にみると、「100人以上」規模が1470億円で、年間売上高全体の約8割を占めている。



1企業当たりの年間売上高は1億5214万円であった。これを就業者規模別にみると、「1～4人」規模は654万円、「5～9人」規模は1674万円、「10～19人」規模は3879万円、「20～29人」規模は6461万円、「30～49人」規模は1億2472万円、「50～99人」規模は2億1912万円と就業者規模が大きい企業ほど高くなっており、売上高全体の約8割を占める「100人以上」規模では、56億5293万円となっている。

受講生1人当たりの支払額は、18万円となっている。これを就業者規模別にみると、「1～4人」規模が10.7万円と最も低く、就業者規模が大きくなるに従い受講生1人当たり支払額が高額になる傾向にあり、「100人以上」規模企業での受講生1人当たりの支払額は19万円となっている。

就業者規模別 年間売上高、企業数、受講生数

	年間売上高 A (百万円)	企業数 B	受講生数 C (人)	1企業当たり 年間売上高 A/B (万円)	1企業当たり 受講生数 C/B (人)	受講生 1人当たり 支払額 A/C (万円)
合計	182,564	1,200	1,011,216	15,214	843	18.1
1～4人	3,061	468	28,724	654	61	10.7
5～9人	5,575	333	45,376	1,674	136	12.3
10～19人	8,805	227	56,858	3,879	250	15.5
20～29人	3,618	56	21,698	6,461	387	16.7
30～49人	6,860	55	37,752	12,472	686	18.2
50～99人	7,669	35	47,027	21,912	1,344	16.3
100人以上	146,976	26	773,781	565,293	29,761	19.0

4. 取扱言語

取扱言語をみると、1200企業のうち92.9%の1115企業が「英語」の教室を開設している。英語以外の言語では、韓国や中国への観光、ビジネスによる渡航の増加などで需要が増加し、「韓国語」を開講する企業の比率が10.6%、「中国語」が同18.6%となっている。

企業の取扱言語

	企業数	取扱言語率(%)							
		英語	フランス語	ドイツ語	スペイン語	中国語	韓国語	イタリア語	その他
平成9年	1,333	95.9	15.9	9.8	12.4	16.6	6.7	6.6	11.1
平成14年	1,200	92.9	18.3	10.8	13.5	18.6	10.6	9.3	12.5
前回差	133	3.0	2.4	1.0	1.1	2.0	3.9	2.7	1.4

(注) 複数回答による。

5. 男女別、年代別受講生数

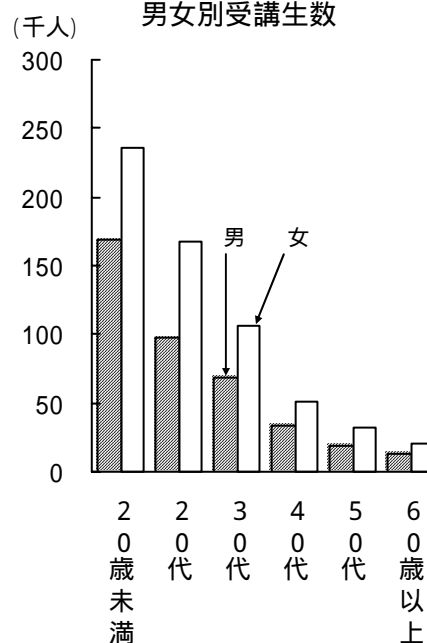
受講生を男女別にみると、「男性」が約4割、「女性」が約6割となっている。次に年代別にみると、「20歳未満」が、40.0%、「20代」が26.2%となっており、30歳未満で全体の7割弱を占めている。

男女別年代別にみると、男性、女性ともに20歳未満が最も多く、年代が上がるごとに受講生は少なくなっている。

男女別、年代別受講生の構成比

	合計		男性		女性	
	合計(人)	構成比(%)	男性(人)	構成比(%)	女性(人)	構成比(%)
合計	1,011,216	100.0	399,878	39.5	611,338	60.5
20歳未満	404,656	40.0	169,321	42.3	235,335	38.5
20代	265,421	26.2	98,220	24.6	167,201	27.4
30代	173,677	17.2	67,889	17.0	105,788	17.3
40代	83,130	8.2	32,872	8.2	50,258	8.2
50代	50,658	5.0	18,482	4.6	32,176	5.3
60歳以上	33,674	3.3	13,094	3.3	20,580	3.4

男女別受講生数

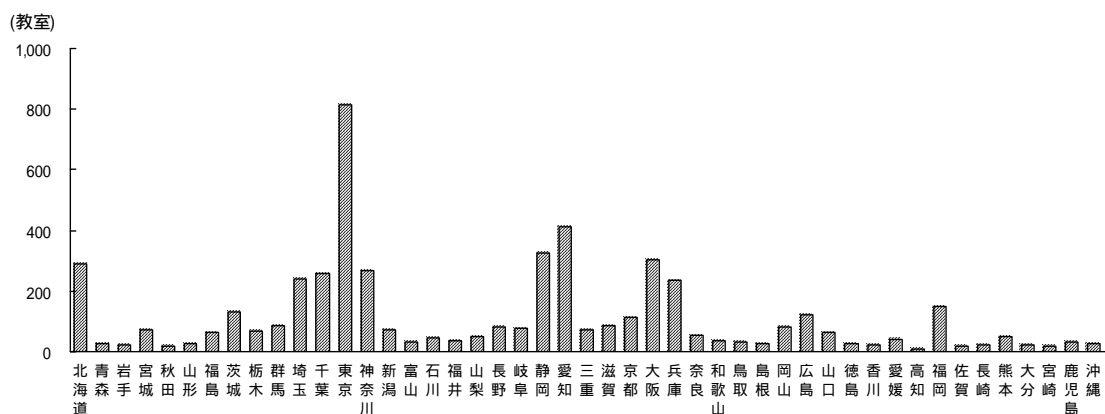


6. 都道府県別の教室数、受講生数

都道府県別に教室数をみると、東京が813教室、愛知が414教室、静岡が324教室、大阪が301教室、北海道が289教室の順となっており、人口集中地域に多く分布している。

受講生数も同様の傾向にあり、東京が22万4541人、神奈川が8万7041人、大阪が8万3784人、愛知が7万9981人、千葉が4万7282人の順となっている。

都道府県別教室数



都道府県別受講生数

